

◎ 母校開学の精神を確かめ、夕陽会の原点である親睦の和を深めるとともに教育と文化の振興に寄与する。

● 運営方針 ●

- 一、支部・支会の連携強化
 - (1) 会員の同窓意識を盛り上げる。
 - (2) 会員相互の助け合いを大切にす。
 - (3) 支部と支会、支会相互のつながりを密にする。
- (4) 情報活動を活性化す。
- (5) 支会と連携しながら、同窓の輪を民間へと広げる。

二、会員の向上・援助

- (1) 会員相互の研修活動を促進す。
- (2) 人材の発掘と登用を積極的に進める。
- (3) 新会員（新採用者・渡島管内勤務初経験者）への援助・啓発に努める。
- (4) 退職会員への感謝と激励に努める。

三、本部及び他支部との連携

- (1) 本部との連携を深めて、会の一層の充実・発展を図る。
- (2) 本部事業への積極的な協力を図る。
- (3) 他支部との密接な情報交換・連携を図る。
- (4) 本部からの支援を積極的に求める。

● 事業推進方針 ●

一、支会訪問と支援

- (1) 各支会の総会・会合には積極的に参加し、支部と支会の連携を図る。
- 二、情報・資料の提供
 - (1) 管内及び他支部との情報交換に努める。
 - (2) 本部との情報交換を積極的に進める。

三、「夕陽渡島」の発行

- (1) 親しまれ読みやすい「夕陽渡島」の発行に努める。(年2回発行)

四、研修事業の活発化

- (1) 新会員励励会を開催し、教職への意欲づけを図る。
- (2) 会員研修の促進と研究実践者の積極的推進を図る。

五、退職会員との連携

- (1) 勇退者への「感謝と激励の会」を開催す。
- (2) 夕陽会渡島支部「終身会員」への勧誘を促進す。
- (3) 勇退会員の資料集「勇退者の横顔と足跡」は、しおりに掲載す。
- (4) 勇退会員へ記念品を贈る。

六、本部事業への積極的協力と参加

- (1) 本部主催の行事への積極的参加と協力を行う。
- (2) 本部前納会員への加入のための支援を行う。

七、関係機関との連携・提供

- (1) 関係機関と連携を強化して、事業を推進す。

八、その他

- (1) 主幹教諭昇任者・教頭昇任者・校長採用者、受賞者等へ祝詞等を送付す。
- (2) 夕陽会新採用者が、渡島管内の学校に着任した場合祝詞等を送付す。
- (3) 慶弔関係への対応を迅速に行う。

支会だより

異校種間連携の町



知内支会会長

(涌元小学校)

船橋 恭二

青森県との間の「しよっぱい川」津軽海峡を望む知内町は、ほぼ中央を知内川が流れる肥沃な平野を有し、ニラや牡蠣で有名です。海岸線は砂浜だけでなく「蛇の鼻」「イカリカイ島」等の奇岩が見られる変化に富んだ風光明媚な景観です。

町内の教育施設は、幼稚園が1校、小学校が3校、中学校が1校、高等学校が1校です。これらの園・学校で知内町教育研究所を組織し、異校種間(幼・小・中・高)の一層の連携、交流を重視した活動に取り組んでいます。また、英語教育を小・中・高の密なる連携のもと、更に充実・発展並びに教員の指導力向上に資することを目的とした知内町英語推進協議会を組織し、活動しております。

今年度の知内支会の会員数は総勢十七名で、知内小七名、湯ノ里小三名、涌元小四名、知内

中一名、知内高一一名、役場一名となっております。会員個々の意識は高く、町教育の中核を担う気概をもち、各職場のリーダーとして活躍しています。

さて、例年ですと七月には知内支会総会・懇親会が行われ、少人数ながらもそれぞれの近況報告等、同窓の親睦を深めていた所ですが、新型コロナウィルス感染予防対策のため実施できずおられません。連日、国内の感染拡大の報道があり、大変憂慮すべき状況にあります。感染防止対策を学校間で情報共有しながら町内一丸となって進めてきたところでは、毎日の教職員が積極的に協働する姿には深い感謝の念のみです。この「夕陽渡島」が発行される頃には、感染が終息に向かうことを心から願っております。

ところで、知内町の町名の由来は、アイヌ語の「チリ・オチ」で、鳥(鷹)・居るところの意味だとのこと。町の至る所でウグイスやカッコウがさえずり、鷹や白鳥など多種多様な野鳥が訪れてくれます。野鳥好きには双眼鏡が手放せない胸躍る自然豊かな町です。

支会だより

「行きたい学校」づくり



七飯支会長
(大中山中学校)

横山 佳彦

七飯町は、今年から道南で初となる義務教育学校「大沼岳陽学校」が開校しました。このことにより、七飯町は、小学校四校、中学校二校、義務教育学校四校として分校が一つの計八校となりました。

小学校では本年度から、新学習指導要領の全面实施となり、小中学校の円滑な接続が重視されております。「学びの連続性」を考える上で、義務教育学校から学ぶべきことは大変多いと感じています。特色ある学校の多い七飯町、その町に勤務できる喜びをもち、互いの資質を高めよう、切磋琢磨できる七飯支会になりたいと考えています。さて、令和二年度の七飯支会の構成は、八校で総勢九十一名となっており、特に、教頭職では、全員が会員です。教頭職は、学校運営の要として、他校の状況も知っておく必要があ

ります。同窓の絆を生かし、情報共有を図り、学校改善につなげてほしいと思います。

また、七飯町は子供にとって「行きたい学校」、保護者にとって「通わせたい学校」、教職員にとって「働き甲斐のある学校」を目指しています。

七飯支会では、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、未だ会合はもっていません。しかし、会員の校長と教頭を中心にこれら三つの学校づくりに取り組んでいます。取組の視点は、学校力向上や小中一貫、校内研修による教職員の資質向上、教育相談に基づく積極的な生徒指導、複式教育、地域との連携など様々であります。

以前先輩から、「研修する夕陽」が大切だと話されたことを思い出します。今、学校の抱える課題は複雑かつ多様です。これらの課題解決を目指し、「行きたい」学校となるよう、七飯町教育委員会の指導を受けながら、七飯支会の活動を進めていきます。よろしく願いします。

新会員だより

感謝



八雲支会
(山越小学校)

村田 義広

今年の四月に函館市立北日吉小学校より、八雲町立山越小学校に赴任いたしました。北日吉小学校では、たくさんの夕陽会の方々に支えられながら、日々成長することができました。また夕陽会大懇親会等では諸先輩方や同期の皆様とお会いすることができ大変有意義な時間を過ごしました。夕陽会の皆様に声をかけていただき度に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

新しい勤務先の八雲町立山越小学校においても校長先生をはじめ、先生方、保護者の皆様、そして地域の方々に支えられながら教頭としての業務にあたっています。たくさんの出会いと皆様の温かいご支援に感謝しています。

私自身も人から感謝される人物になれるよう精いっぱい努力していきます。今後ともよろしく願いいたします。

新たな場所で



八雲支会

(東野小学校)
光成 彰彦

四月に、函館市立中部小学校より赴任してまいりました。渡島での勤務は知内町に続き二十一年ぶりの二度目ですが、八雲町は初めてとなります。

ホタテ漁と酪農が盛んで自然豊かなこの地は、私にとつて居心地が良く、人々の温かさも同時に感じる事ができました。コロナの影響でこの半年、教育活動を思う存分進めることはできませんでしたが、日常が少しずつ戻ってきたこれからは、目の前の子供たちのため、保護者・地域のため、精いっぱい尽力していきたいと考えます。

夕陽会の皆様には、今までいろいろな場面でお世話になり、感謝申し上げます。諸先輩方や同期の皆さんにご指導を受けながら微力ではありますが、渡島の教育のために精一杯努力してまいります。

今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

感謝



八雲支会

(野田生中学校)
細川 和成

この春、余市町立西中学校より異動となりました。過去二年間、後志夕陽会の皆様には本当にお世話になりました。他管内に行つて、あらためて同窓の先輩方の頼もしさを実感しました。会合がある度に「ホリタはまだあるのか？」など、一瞬にして青春時代にタイムスリップでき、楽しいひと時を過ごせたのも、夕陽会のお陰でした。渡島管内に戻つてからも、多くの方々から「お帰りなさい」と声をかけていただき、大変感謝しております。さて、本校ですが小規模校の強みを生かし、個に応じた指導を追求しております。また、地域にある教育資源の発掘と開拓を進め、最大限活用する取り組みを行っております。地域に大切にされてきた学校を任せられ、とても緊張しております。

今後とも、何とぞよろしくお願ひいたします。

歴史を感じて



八雲支会

(野田生小学校)
高田 智史

今年の四月に、函館市立神山小学校から異動いたしました。前任校では、学校内外で、多くの先輩方にご指導を賜りました。心より感謝申し上げます。

八雲町への赴任は、今回が初めてとなりますが、心強いのは、この地においても先輩方の存在です。静かに見守ってくださいる視線の奥に、「がんばれよ、応援しているから。」という、歴史に裏付けられた大きくて温かい思いを感じながら、日々の学校経営に邁進しております。

今年度は、学習指導要領完全実施初年度にもかかわらず、コロナ禍により日々の授業や各種行事など、これまでと違ったさまざまな対応が求められています。このような時だからこそ、夕陽会の皆様と力を合わせ、実践交流や研修などを深め、子供たちのために励んで参りたいと存じます。

今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

半年を振り返って



八雲支会

(八雲小学校)
西崎 さくら

今年の四月に八雲町立八雲小学校に赴任しました。最初はわからないことばかりで様々な不安がありました。夕陽会をはじめとする先輩方に支えられ、なんとか半年を乗り越えることができました。

この半年を振り返ると、コロナウィルスの流行に伴い、学校の臨時休業、行事の中止など、様々なことが例年とは違う半年間でした。しかし、そのような中でも、マスクをしながら一生懸命勉強に励む子供たちや、子供たちの様子を気にかけている先生方、励ましの言葉をかけてくださる地域の方々を見て、私もこの地で子供たちと共に学び、教員として成長していきたいという思いをもちました。

まだまだ未熟者ではありますが、先輩方にたくさんのお話を学びながら指導力を向上させ、子供たちに還元していきます。

今後ともご指導よろしくお願ひ致します。

使命感をもって



森支会
川瀬 健
(さわら小学校)

この度、函館市立八幡小学校より昇任教頭として赴任いたしました。

正面に噴火湾、背後に駒ヶ岳という自然豊かな学校で、明るく元気な百二十九名の子供たち、心温かい地域・保護者、熱心な教職員とともに、充実した毎日を過ごしています。

赴任先の森町立さわら小学校では、管理職としての仕事と同時に、コロナ禍の対応について、日々あわただしく仕事をしています。このような混乱した教育環境の中ですが、これからの未来を切り拓く子供一人一人の自己実現を使命とし、自立と創造へ自ら変革し、質の高い教育活動を推進していききたいと考えています。また、子供たち一人一人が、ふるさとを愛し、幸福な人生を自ら創造していけるような学校教育を目指し、全力を尽くして参ります。どうぞよろしくお願いたします。

半年を振り返って



北斗支会
前川 珠代
(萩野小学校)

四月から新採用として北斗市立萩野小学校に赴任しました。多くの先生方に支えられ、初任の半年間を乗り越えることができました。

この半年間は、新型コロナウイルスによる臨時休業や、新しい生活様式に合う授業の形を考へ続けてきました。三月から思い描いていた学級経営や、授業方法とは大きく変わり、正直なところその日乗り越えることでやっとでした。しかし、周りの先生方と励まし合ったり、元気な子供たちの笑顔に勇気づけられたりと、温かい気持ちになった経験もたくさんありました。大変ですが決して一人ではないということを実感しました。まだまだ未熟者ではありますが、これからも子供たちの安全を第一に、がんばりたいと思います。

今後とも、夕陽会諸先輩方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

自然豊かな鈴蘭谷にて



七飯支会
村井 雄一
(大沼岳陽学校鈴蘭谷分校)

この春に函館市立桔梗中学校より赴任いたしました。自然豊かな立地の鈴蘭谷分校は、今年度開設した大沼岳陽学校の分校であり、児童自立支援施設「北海道立大沼学園」に併置された学校です。前・後期課程には、様々な生育環境や特性をもった子供たちが在籍しております。

私は松前町を振り出しに、中学校を五校経験して現在に至ります。これまで夕陽の先輩の皆様からたくさんのご指導、ご鞭撻を賜りながら、教員として充実した日々を過ごしております。日常の授業や学級経営から、生徒指導や保護者対応、部活動に至るまで諸先輩方の温かい見守りとご指導をいつも心強く感じておりました。

今後は私もそうしていただいたように、同窓の後輩を見守り励まし、夕陽の皆様とともに子供たちのために尽力してまいります。どうぞよろしくお願いたします。

半年を振り返って



福島支会
田上 悟
(吉岡小学校)

今年の四月に、函館市立北美原小学校より異動してまいりました。

前任校では、夕陽会の諸先輩方にご指導を頂きながら、楽しく充実した日々を過ごすことができました。また、現任教員においても、職場の同僚や、同じ町内の学校に、多くの夕陽会の仲間がいることを心強く感じております。

福島町立吉岡小学校は、全校児童一二名の小規模校で、そのうち五名が今年度入学した新一年生です。入学式が行われたのは、実に三年ぶりで、昨年までは一味違った活気に満ちています。現在は、教頭として、そして一年生担任として奮闘する日々を過ごしております。これからも、夕陽会の皆様と実践交流や研修を通し、自身身のスキルを高め教育活動に励んでいきます。何卒よろしくお願致します。

日々の取組の中で



松前支会
(小島小学校)
佐々木 善 貴

函館市立湯川小学校より異動してきた四月。新型コロナウイルス感染症対策等、様々な課題への対応において校長という責任の重さを改めて痛感しました。今すべきことは何か、情報交流や協議を続けていく中で学校再開となり、安心感と緊張感をもった教育活動を進めてきました。松前町の子供たち、保護者や地域の方々、先生方、そして、教育委員会と校長会との繋がりに支えられた一学期でした。学校では教育目標に向かって、子供たちの『主体的・対話的で深い学び』につながる学習活動の展開を工夫改善しています。小中一貫型教育を推進する松前学園として、地域と共に学びの質を高め、子供たちが楽しいと思える学校作りに努めます。

夕陽会の皆様には様々な面でご指導いただき、大変感謝しております。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。

終身
会員の
声

感謝・感謝!!



昭和四十一年 一類
小 嶋 忠 親

最初の感謝は、車に。昭和四十五年が始まり、最後の車まで十二台。四十九年間。通勤はもちろん、家族旅行やドライブ等日常欠かすことのできない足としてお世話になった。車を卒業したきつかけは、平成三十一年三月車検切れだった。そして車もオートマ時代となり便利となったが、反面高齢者の事故は大きな社会問題となった。時代も平成から令和へ。そこで七十歳心機一転、車のない人生に挑戦することに。人生の半分以上お世話になった「愛車」に心

より感謝。ありがとう。

次の感謝は「妻」へである。

昭和四十五年結婚。今年四月で結婚五十年。金婚式を迎えた。いろいろなことが走馬灯のように思い出される。特に子育ては、ヨットに魅せられ全国を飛び回り、留守にすることが多かった時期には本当に苦労をかけた。また人事異動と引越。不慣れた地域での生活。健康食事への気配りなど物心両面の支えは大きかった。今年七十七歳の喜寿を迎えることができ、この「妻」のお陰と感謝の気持ちで一杯だ。

これからも新型コロナウイルス流行の一日も早い終息を祈り、お互いを認め合い。支え合い五十五年エメラルド婚をめざし。笑顔で楽しい人生を過ごしたいと思う。

一日も早い日常生活を!



昭和四十一年 一類
深 栖 久 幸

退職して十七年、喜寿を迎えました。お陰様で健康で好きな

バドミントンを続け、年間を通してシニア大会に参加、台湾をはじめ、福岡、富山、福島、東京、宮城、札幌大会と二ヶ月に一回は旅行を兼ねて、家内共々出歩いてきました。

しかし、今年は新型コロナウイルス流行により計画されていた大会がことごとく中止となりバドの練習はもちろん生活が一変してしまいました。五月末より週二回の練習が再開されましたが、旅行等は出来ない状態が続いています。することと言えば家庭菜園と庭のサツキいじり、TV鑑賞等と身体は鈍り、家での筋トレでしのぐのが精一杯というところです。

中でも将棋界で一躍光をあげた藤井聡太棋聖の目ざましい活躍を拝見し、心のもやもやを消し去ってくれるこの頃です。棋聖位をはじめ、木村一基王位との王位戦三連勝、あと一勝で王位をはじめ八段昇段と今注目の藤井君の活躍を応援し、心の癒しとしています。

新型コロナウイルス出現以来暗いニュースの多い中で、心安らぐのは一体何だろうと考えて

いるのは、私だけではないと思います。一年延期されている東京オリンピックの件も心配されます。

一日も早く、いつもの日常生活の戻ることを願っています。

思いつくままに



昭和四十一年 一類
渡部 健二郎

北斗市に夏らしい清々しい季節がやってきた。梅雨前線の停滞で九州地方をはじめ全国的に大きな災害をもたらしている。

コロナウイルスにより世界中が混乱状態である。生活状況が変わり我々の生き方も考えなければならぬ。先日テレビで「知床秘話―開拓魂が守った自然」が放映された。元斜里町町長が知床の自然を守ろうとして始まった「百平方メートル運動」の活動に強く感動した。このような地道な活動を皆でしていけば、少しでも地球温暖化は防げると思う。意識して行動していきたい。

私は七年前から町内会の区長、神社の総代、小学校の評議員など地域に幾らかでも役立つボランティアをしている。お祭り、交通安全、子供たちとの活動などで元気をもらっている。

退職直前、心筋梗塞で一ヶ月入院し心臓の四分の一が壊死してしまい無理な運動は出来なくなつたが、好きな山登りや旅行、水泳、十キロ程度の歩行などをして健康を維持している。また読書が図書館から借りた吉川英二全集を読破しようとして「新平家物語」に夢中である。実に面白い。

コロナの障害が無くなれば、夕陽会をはじめ多くの人達とも会えるので、楽しみにしています。

思い出話(1) 海辺に座る子供達の後ろ姿!



昭和四十一年 一類
天野 哲 征

昭和六十二年、国鉄民営化が始まり、私の勤務していた学

校・町はまともにその影響を受けていた。夏休みに入る直前、学級の代表が「先生、キャンプに行きたい」と相談してきた。

決して、落ち着いて授業のできていた学校ではなかったが、代表の真剣さに押されたし、このまま別れ(国鉄民営化で)をしたくなかった。：今もってあのH君のような生徒には出会っていない。「よし、明日(始業式の前日)までに、必ず全員に提案し話しかけること、多くの者が参加できること、場所・日程・参加者の一覧・持ち物の分担を決め、そして保護者の承諾を持って来なさい。」と話した。当然一晩二晩ではうまくはいかない。直ぐにA校長先生にこのような相談があります。責任は私がとります、なんとかお許しをお願いしますと話した。校長先生はキミ一人に責任をとらせるわけにはいかない、私も退職の年だし、思う存分やりなさい。感謝感謝で、私は有難かつた。

新任のN先生(現在は市内大規模中学校長)に相談し、生徒が寝るまで付き合ってほしいと

相談したら、即座にOK。有難かつた。

中学三年生男女、多分三十名弱、海辺のキャンプ場で、海水浴にキャンプ!今なら誰も行わない、引率も断る時代でしょうし、校長が許すはずがない。

H君のお母さんは「先生ばかりに世話をお願いするわけにはいかない。私も同行します。」小さなリュックを背負い、駅に来た。私は「家内を連れて行くので、何かあったら、電話をかけます。」と一旦自宅に戻ってもらった。思えば、公衆電話の時代だったから、何かあったら大変な時代だった。

：お天気よい日の午後の海辺。静かに海を眺める後ろ姿が、こよなく愛おしかった。

帰りの列車を待つまでの間、沖を向いて、海辺に座り、その後ろ姿の映像が今でも目に焼き付いている。彼らはもうすぐ五十歳になる。



令和2年度

夕陽会渡島支部各支会役員名簿

| 支会名 | 支 会 長 | | 幹 事 長 | |
|-----|---------|--------|---------|--------|
| | 氏 名 | 所 属 | 氏 名 | 所 属 |
| 松 前 | 岩 井 栄 一 | 松城小学校 | 佐々木 善 貴 | 小島小学校 |
| 福 島 | 井 上 嗣 仁 | 福島小学校 | 宮 川 高 宏 | 福島中学校 |
| 知 内 | 船 橋 恭 二 | 涌元小学校 | 鈴 木 健 二 | 涌元小学校 |
| 木古内 | 信 田 博 之 | 木古内中学校 | 金 澤 誠 一 | 木古内中学校 |
| 北 斗 | 小野寺 幸 恵 | 市渡小学校 | 玉 野 悌 司 | 市渡小学校 |
| 七 飯 | 横 山 佳 彦 | 大中山中学校 | 寺 崎 步 | 大中山中学校 |
| 鹿 部 | 佐 藤 君 博 | 鹿部小学校 | 花 輪 肇 | 鹿部小学校 |
| 森 | 小野寺 徹 | 濁川小学校 | 小 嶋 幸 一 | 濁川小学校 |
| 八 雲 | 伊 藤 明 彦 | 浜松小学校 | 足 立 雅 行 | 浜松小学校 |
| 長万部 | 西 尾 聡 | 長万部小学校 | 南 順 司 | 長万部小学校 |
| 五 陵 | 西 田 浩 人 | 渡島教育局 | 勝 田 洋 一 | 渡島教育局 |

令和2年度

夕陽会渡島支部役員名簿

| 役 職 | 氏 名 | 所 属 |
|-------|---------|------|
| 顧 問 | 木 村 孝 | 終身会員 |
| | 福 井 伸 一 | 終身会員 |
| | 幕 田 真 二 | 終身会員 |
| | 小笠原 英 緒 | 終身会員 |
| 支 部 長 | 海 野 厚 二 | 上磯中 |
| | 山 内 淳 禎 | 駒ヶ岳小 |
| 副支部長 | 三 上 幸 喜 | 鷺ノ木小 |
| | 白 石 真 嗣 | 大中山小 |
| 監 査 | 西 村 和 彦 | 久根別小 |
| | 渡 邊 聡 | 森 小 |
| 幹 事 長 | 金 澤 力 | 藤城小 |
| 副幹事長 | 伊 藤 明 彦 | 浜松小 |
| 会計幹事 | 小 又 洋 子 | 大沼岳陽 |
| 庶務幹事 | 浅 利 仁 | 森 中 |
| | 附 田 勇 人 | 大中山小 |
| 広報幹事 | 助 川 剛 | 尾白内小 |
| | 中 田 和 久 | 萩野小 |
| | 吉 田 圭 | 島川小 |

▶夕陽会渡島支部事務局◀

〒041-1103 亀田郡七飯町藤城268
七飯町立藤城小学校
金 澤 力
電 話 0138-65-2615
F A X 0138-65-1346

会務中間報告

- 〔令和元年度〕
2月8日(土) 第2回支会長・幹事長会議
令和元年度 勇退者激励感謝の会
夕陽渡島第140号を発行する
- 〔令和2年度〕
4月9日(木) 渡島支部総会、新会員歓迎会及び
全国支部長会議、本部総会、大懇
親会中止のお知らせを送付する
各支会現況調査依頼を送付する
令和2年度支部総会・大懇親会・
新会員歓迎会(中止)
5月9日(土) 全国支部長会議(中止)
6月27日(土) 本部総会、大懇親会(中止)
6月24日(木) 令和2年度第1回支会長・幹事長
会議中止のお知らせを送付する
7月3日(金) 令和2年度管理職・行政職等名簿
の校正を行う
7月上旬 令和2年度第1回渡島支部役員会
(中止)
7月17日(金) 令和2年度第1回支会長・幹事長
会議(中止)
7月20日(月) 令和2年度校長採用、教頭・主幹
教諭昇任及び新採用の会員へ祝詞
を送付する
7月22日(水) 令和2年度会費納入延期のお知らせ
を送付する
7月25日(土) 終身会員水上秀美様のご逝去に伴
い香典を送付する
7月31日(金) 第1回支会長・幹事長会議資料を
送付する
第2回本部役員会に出席する
(付属小
山内支部長・金澤幹事長)
9月12日(土) 全国支部長会議に出席する
(ホテル函館ロイヤル
山内支部長・金澤幹事長)

終身会員の皆様へ

「令和2年度 勇退者激励・
感謝の会」を次のように開催い
たしますので、ご案内申し上げます。
尚、今後の状況により変更
等も考えられますので、ご承
知おきください。
◎二月十三日(土)
懇親会：午後五時より
◎会場 ホテル法華クラブ函館
◎会費 六千五百円
◎申し込み締め切り
十二月二十五日(金)
◎申し込み方法
同封の葉書にてお申し込み
ください。

あ と が き

新会員・終身会員の皆様の特
集号、『夕陽渡島』第百四十一号
をお届けいたします。御寄稿い
ただいた皆様には、大変お忙し
い中での原稿執筆に心より感謝
申し上げます。
また、今号も会員の皆様にも
大なる御協力をいただき、予定
どおり発行できましたこと心よ
りお礼申し上げます。